

《今日7月20日は、海の記念日です。》

海の未来。暮らしの未来。

日本船舶振興会は、「テクノスーパーライナー」の
実験プロジェクトを支援しています。

速力50ノット(時速約93km)、貨物積載量1,000トン(ジャンボ貨物機9機分)、航続距離1,000km。「テクノスーパーライナー技術研究組合」による夢の新形式超高速船TSL-テクノスーパーライナーの研究開発が、いよいよ模型船による実海域試験に入りました。TSLが実用化されれば、産地立地条件の格差が大幅に短縮。農産物、工業製品などの新しい輸送・流通需要が創出されます。海から暮らしを変えていく技術。私たちは、より豊かな未来への支援を続けています。

日本船舶振興会の主な海洋関連事業

- 海洋環境の調査・保全
- 自動操船技術の開発
- 船舶排ガスのNOx低減技術の開発
- タンカー事故時の油防除技術の研究
- 移動式FRP廃船処理装置の開発
- テクノスーパーライナー対応荷役システムの開発
- マラッカ・シンガポール海峡の航路標識整備
- 水難救助活動の支援
- 海洋汚染防止のための国際協力

財団法人 日本船舶振興会

